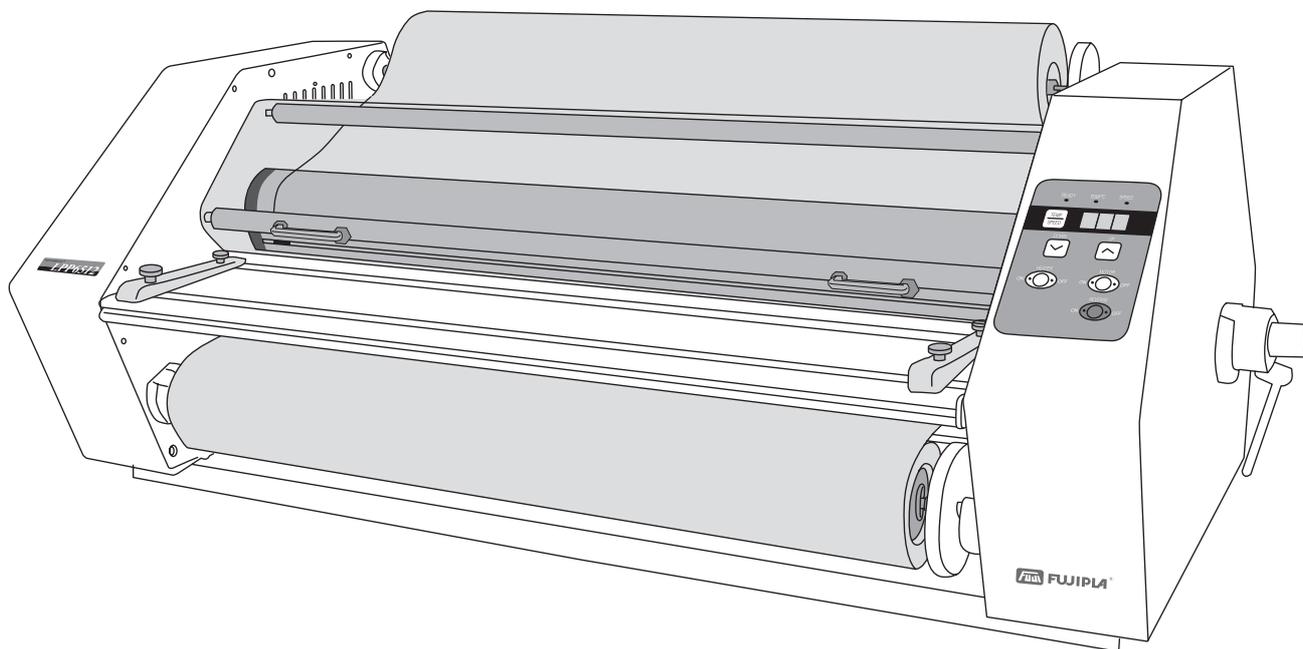

Fuji Lamipacker[®]
LPP6512

取扱説明書(保証書)

この度は当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用になる前に説明書をお読みいただき、
正しく安全にご使用ください。
また、この取扱説明書(保証書)は大切に保管してください。



フジプラ株式会社

東京都中央区銀座1丁目9番7号

ホームページ <http://www.fujipla.co.jp>

ヘルプデスク
お問い合わせ  **0120-227-846**

FAX受付 03-3564-2116

ID Card System, Laminating Machine & Film



FUJIPLA Inc.

TOKYO, JAPAN

この度は、フジラミパッカーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機はラミネート用ロールフィルム(当社商品「CPロール」)を使い用紙などの表面に、透明なプラスチックフィルムをラミネート(積層)する機械です。ラミネートされた用紙などは、表面に光沢が出て美しくなり、耐水性、対磨耗性に優れたものとなります。

本取扱説明書をよくお読みになり危険や失敗がないよう末永くご愛用ください。

警 告



分解禁止



巻込注意



感電注意



高温注意

- ⚠️ ご自分では分解・改造・修理などをしないこと。万一、巻込み等のトラブルが発生した場合は直ちに電源スイッチをOFFにして電源コードを外して販売店または当社に連絡していただき、その指示に従ってください。
- ⚠️ ネクタイ・ネックレス等、巻込みやすい服装は避けること。髪が引き込まれないように注意すること。
- ⚠️ 万一、巻き込んだ場合には直ちに電源をOFFにすること。
- ⚠️ 機械に水をかけないこと、ぬれた手で操作しないこと。
- ⚠️ 電源コードを機械の下にはさまないこと。
- ⚠️ 移動する時は、必ず電源コードを抜くこと。
- ⚠️ 機械の上部面およびラミネート仕上がり品は熱くなっております。
- ⚠️ ラミネート禁止物(次項の「対象物」を参照してください)はラミネートしないこと。
- ⚠️ 危険物のラミネートまたは誤った操作で発煙することがあります。
- ⚠️ 安全カバーおよび前案内板は常時装着の上、使用すること。
- ⚠️ 締め切った室内では、こまめに換気を行うこと。

安全取扱説明

安全にご使用いただくために、次の注意事項を必ずお守りください。

設 置 場 所	<p>1) 湿気が多い場所、クーラーの吹き出し口近くは避けてください。電気絶縁が劣化し漏電する危険性があります。</p> <p>2) 本機は平らな所に設置し、フィルム取り出し口側はラミネートされたものが取り出せるスペースをあけてください。</p> <p>3) 本体の上に物を置かないでください。</p> <p>4) 電源は必ずAC100Vから取ってください。たこ足配線は絶対にしないでください。</p> <p>5) 閉めきった部屋では、こまめに換気を行なってください。</p> <p>6) 感電防止のため、必ずアースを取り付けてください。アース線を取り付ける時は電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。アース線の取り付けは電気工事店または、販売店にご相談ください。</p>
ラミネートフィルム	必ず当社純正フィルム「CPロール」をご使用ください。フィルムの特性が合わないと、巻込むことがあります。
対 象 物	<p>ラミネートは熱を加えて圧着していきますが、操作の手違いなどにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはお止めください。</p> <p>1) 発火性の物、熱に熔けやすいもの(塩ビ、ポリエチレン等)。</p> <p>2) たった1枚しかないような大切なもの。</p> <p>3) フィルムを含めて0.8mm以上の厚さのもの。</p> <p>4) 感熱紙・クレヨンで描いた絵など熱で変色・変質するもの。</p>
機 械 操 作	<p>1) 機械本来の使用目的以外には使用しないでください。</p> <p>2) 機械操作中は機械のそばを離れないでください。</p>

目 次

警告	2
安全取扱説明	2
1. 各部の名称と機能	2
2. 専用スタンドの組み立て	2
3. ロールフィルムのセッティング方法	3
4. ウォームアップ	3
5. ラミネート加工	4
6. リアカッターの使い方	5
7. 作業の終了	5
8. ゴムロールの清掃	5
9. ラミネートフィルム	5
10. 機械仕様	5
保証規定	6

この度は、フジラミパッカーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機はラミネート用ロールフィルム(当社商品「CPロール」)を使い用紙などの表面に、透明なプラスチックフィルムをラミネート(積層)する機械です。ラミネートされた用紙などは、表面に光沢が出て美しくなり、耐水性、対磨耗性に優れたものとなります。

本取扱説明書をよくお読みになり危険や失敗がないよう末永くご愛用ください。

警 告



分解禁止



巻込注意



感電注意



高温注意

- ⚠️ ご自分では分解・改造・修理などをしないこと。万一、巻込み等のトラブルが発生した場合は直ちに電源スイッチをOFFにして電源コードを外して販売店または当社に連絡していただき、その指示に従ってください。
- ⚠️ ネクタイ・ネックレス等、巻込みやすい服装は避けること。髪が引き込まれないように注意すること。
- ⚠️ 万一、巻き込んだ場合には直ちに電源をOFFにすること。
- ⚠️ 機械に水をかけないこと、ぬれた手で操作しないこと。
- ⚠️ 電源コードを機械の下にはさまないこと。
- ⚠️ 移動する時は、必ず電源コードを抜くこと。
- ⚠️ 機械の上部面およびラミネート仕上がり品は熱くなっております。
- ⚠️ ラミネート禁止物(次項の「対象物」を参照してください)はラミネートしないこと。
- ⚠️ 危険物のラミネートまたは誤った操作で発煙することがあります。
- ⚠️ 安全カバーおよび前案内板は常時装着の上、使用すること。
- ⚠️ 締め切った室内では、こまめに換気を行うこと。

安全取扱説明

安全にご使用いただくために、次の注意事項を必ずお守りください。

設 置 場 所	1)湿気が多い場所、クーラーの吹き出し口近くは避けてください。電気絶縁が劣化し漏電する危険性があります。 2)本機は平らな所に設置し、フィルム取り出し口側はラミネートされたものが取り出せるスペースをあけてください。 3)本体の上に物を置かないでください。 4)電源は必ずAC100Vから取ってください。たこ足配線は絶対にしないでください。 5)閉めきった部屋では、こまめに換気を行なってください。
ラミネートフィルム	必ず当社純正フィルム「CPロール」をご使用ください。フィルムの特性が合わないと、巻込むことがあります。
対 象 物	ラミネートは熱を加えて圧着していきますが、操作の手違いなどにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはお止めください。 1)発火性の物、熱に熔けやすいもの(塩ビ、ポリエチレン等) 2)たった1枚しかないような大切なもの。 3)フィルムを含めて0.8mm以上の厚さのもの。 4)感熱紙・クレヨンで描いた絵など熱で変色・変質するもの。
機 械 操 作	1)機械本来の使用目的以外には使用しないでください。 2)機械操作中は機械のそばを離れないでください。

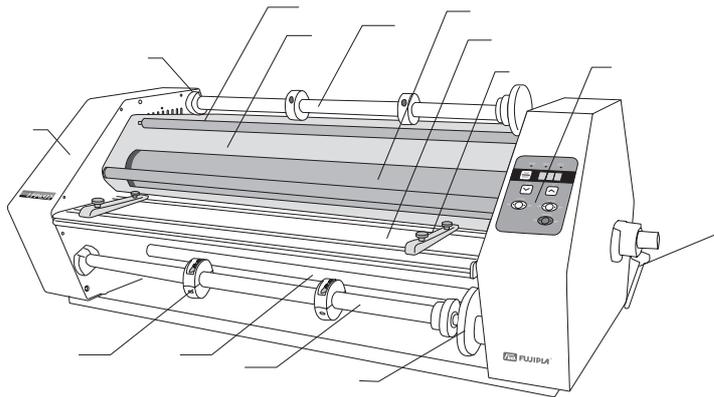
目 次

警告	2
安全取扱説明	2
1.各部の名称と機能	2
2.専用スタンドの組み立て	2
3.ロールフィルムのセッティング方法	3
4.ウォームアップ	3
5.ラミネート加工	4
6.リアカッターの使い方	5
7.作業の終了	5
8.ゴムロールの清掃	5
9.ラミネートフィルム	5
10.機械仕様	5
保証規定	6

1.各部の名称

各部の名称

- ガイドロール
- 安全カバー
- ペーパーガイド
- 前案内板
- マンドレル受け
- ヒートロール
- マンドレル
- 張力調整ナット
- ケーシング
- 操作パネル
- ロール操作レバー
- リアトレ
- リアカッター
- 電源スイッチ
- 電源コード
- コマ(2-1/4インチ紙管用)

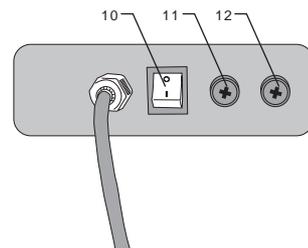
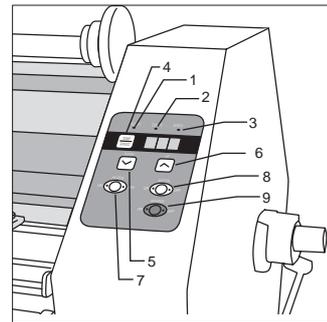
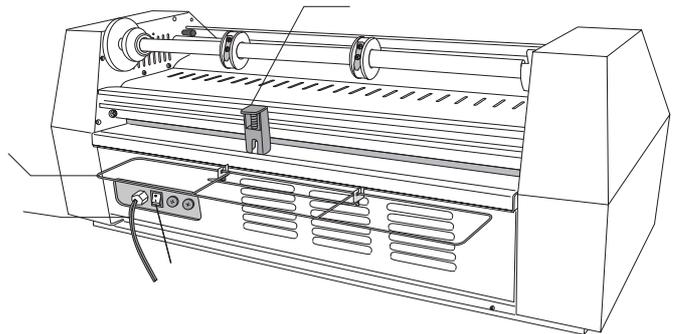


付属品

- ・専用スタンド 1式
- ・側板(2)
- ・ステー(3本)
- ・長いネジ(6本)
- ・短いネジ(8本)
- ・ワッシャー(14個)
- ・スプリングワッシャー(14個)
- ・6角レンチ(3mm) 1本
- ・6角レンチ(5mm) 1本
- ・6角レンチ(6mm) 1本
- ・コマ(3インチ紙管用) 4個
- ・フィルムセッティングボード 1枚
- ・取扱説明書(保証書) 1冊

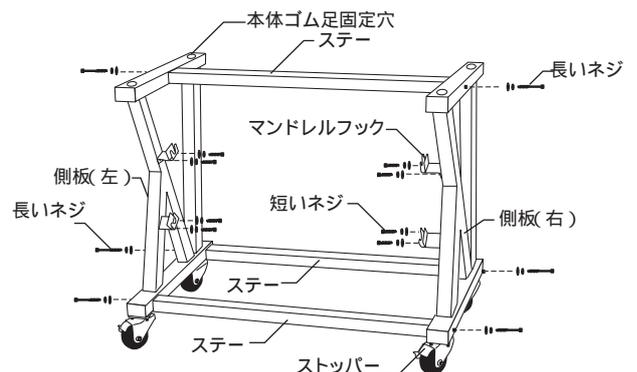
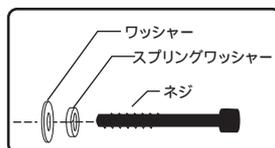
各部の機能

- 1 .READYランプ(黄)
ヒートロールの表面温度が設定温度に達すると、このランプが点灯します。
- 2 .TEMP ランプ(黄)
このランプが点灯している時は、設定温度の変更が可能です。
- 3 .SPEEDランプ(黄)
このランプが点灯している時は、設定速度の変更が可能です。
- 4 .TEMP/SPEED 切換ボタン
このボタンで設定モード(温度・速度)を切り換えます。
TEMP ランプ点灯:設定温度の変更が可能になります。
SPEED ランプ点灯:設定速度の変更が可能になります。
- 5 .DOWNボタン
このボタンで温度・速度設定値を減少させます。
- 6 .UPボタン
このボタンで温度・速度設定値を増加させます。
- 7 .HEATERボタン
このボタンがONの状態の時に、ヒーターに通電してゴムロールが加熱されます。
(ボタンを押す度にON/OFFが切り換わります。)
- 8 .MOTORボタン
このボタンがONの状態の時に、モーターが正回転します。
(ボタンを押す度にON/OFFが切り換わります。)
- 9 .REVERSEボタン
このボタンがON状態の時に、ゴムロールが逆回転してフィルム及び用紙が手前に吐出されます。(速度は最低の設定になります。)
- 10 .電源スイッチ
このスイッチをONにしますと、操作パネル上のボタン操作が可能となります。
- 11 .HEATERヒューズ
ヒーターに過電流が流れると、安全のためこのヒューズが溶断します。
- 12 .MOTORヒューズ
モーターに過電流が流れると、安全のためこのヒューズが溶断します。



2.専用スタンドの組み立て

- 1)側板(左)と側板(右)にステー(3本)をそれぞれ長いネジで取り付けます。
- 2)マンドレルフック(4個)を短いネジで取り付けます。取り付け方はフック側が正面方向になるように取り付けてください。
- 3)全てのネジが締まっていることを確認して、本体のゴム足をスタンドのゴム足固定穴に入るようにセットします。
移動する時以外は、キャスターのストッパーをONにしてください。



3. ロールフィルムのセッティング方法

1) ロールフィルム装填のため、安全カバーと前案内板を本体から外します。(図1)

- ・安全カバーの外し方は手前側を持ち上げ、更に上に引いて、指示ピンから外します。
- ・前案内板の外し方は、手前側を持ち上げ、次に手前に引いて指示ピンから外します。

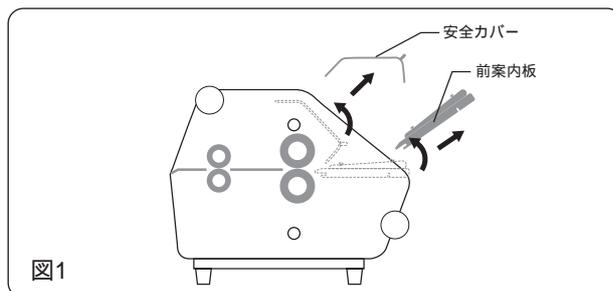


図1

2) マンドレルを上下とも本体から取り外します。

3) マンドレルにはフィルムの紙管サイズに合ったコマを使用してください。また、取り付け位置の調整をしてください。
マンドレルへのコマの固定はツメを同一方向に揃えてください。(図2)

マンドレルには標準品として2・1/4インチ紙管用コマが取り付けられています。

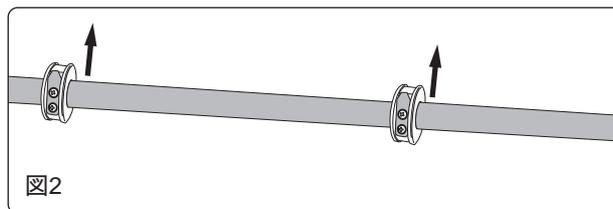


図2

注意

ロールフィルムの最初と最後は、テープで止めてあります。テープを付けたまま機械に通すと、テープがローラーに接着してトラブルを起こす原因となります。テープは必ず取り外してください。

4) ロールフィルムにマンドレルを挿入します。
マンドレルに取り付けられた紙管固定用コマのツメの方向がロールフィルムの回転方向と逆向きになるように、マンドレルをロールフィルムに挿入してください。(図3)

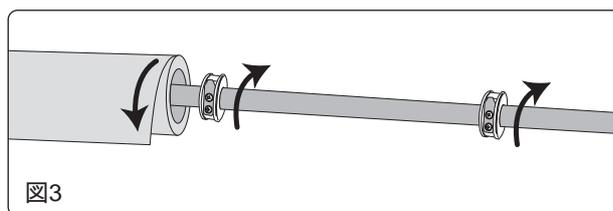


図3

ポイント

ロールフィルムにマンドレルを挿入する際は、マンドレルをツメの向きと逆方向に少し回しながら押し込むと挿入が円滑に行なえます。

5) ヒートロールにフィルムを持ってきたときにフィルムの樹脂面(ざらざらした面)が外側になるようにマンドレルを本体へ取り付けてください。

4. ウォームアップ

- 1) 電源コードをコンセントに接続し、電源スイッチをONにします。(操作パネルディスプレイにはOFFと表示されます)
- 2) ヒートロールをロール操作レバーで上げ、HEATERボタンをONにします。
- 3) ラミネートするラミネートフィルムと用紙に合わせて、温度及び速度を設定します。(参考加工表をご参照ください)
- 4) ウォームアップ完了のブザーが鳴りREADYランプ(黄)が点灯するとラミネート加工が可能となります。

参考加工表 <フジラミパッカー LPP6512>

用紙の厚さ	ラミネートフィルムの厚さ		
	38ミクロン	100ミクロン	150ミクロン
薄手の用紙 80 ~ 150 μm	110 / 80 ~ 120	120 / 80 ~ 120	120 ~ 130 / 60, 80
厚手の用紙 160 ~ 270 μm	110 / 80 ~ 120	120 / 80 ~ 120	120 ~ 130 / 60, 80

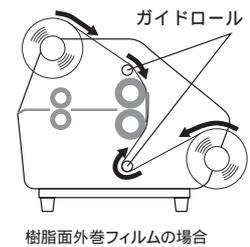
温度()速度(cm/分)

5.ラミネート加工

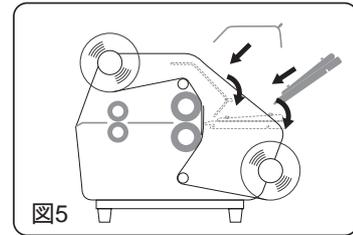
注意

ヒートロールは大変に熱くなっています。
取り扱いには充分ご注意ください。

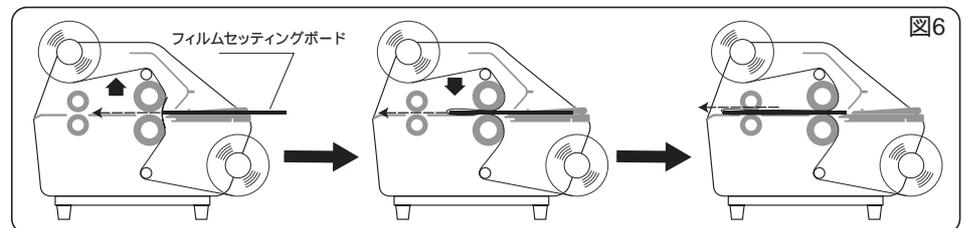
- 1)本体背面のリアトレイを水平にセットして下さい。
- 2)リアカッターをレールの左右どちらかの端に移動させてください。
- 3)上側のフィルムをガイドロールに通しヒートロールの前に垂らし、下側のフィルムをガイドロールを通して上側のフィルムに貼り付けます。(図4)



- 4)安全カバーと前案内板を取り付けます。(図5)



- 5)フィルムセッティングボードを使ってフィルムと一緒にヒートロール間に押し込み、ロール操作レバーでゴムロールを下げます。(図6)
MOTORボタンをONにしてゴムロールを回転させ、フィルムがゴムロールに巻きつかないように注意しながら、ゴムロールの間に通します。



ポイント

MOTORボタンを使用し、ゴムロールを回転させたり止めたりして行なうと簡単にできます。

- 6)初めの1mくらいはヒートロール上にシワが出ますが、その後無くなります。いつまでもシワが消えない場合はマンドレルに付いている張力調節ナットを回して、張力を少し強め(右回し)にして下さい。ラミネートされたロールフィルムの両端がずれている場合は、両端が重なるようにロールフィルムの位置を調整して下さい。

注意

ラミネート加工を行なう時は、必ず安全カバーと前案内板を取り付け下さい。

ポイント

きれいにラミネートするためには...

- a)類似紙質の用紙を使用して「試しラミ」を行なって、温度と速度の条件を掴んでから本番に入ることをお勧めします。
- b)加工中は用紙を上から手で押さえて、中央から両端へしっかりと張りながらラミネートするときれいに仕上がります。
- c)ラミネート仕上がりが白く曇った時は熱不足です。温度を少し上げるか、速度を少し下げて下さい。

- 7)ラミネートする用紙の先端を安全カバー(ヒートロール)と平行になるように前案内板の上に平らに広げ、機械に挿入して下さい。ラミネートする用紙は機械に対して垂直方向に挿入されますので、用紙の先端を平行にして機械に挿入しないと、ラミネートする用紙の後半がフィルムからはみ出してしまいます。

ポイント

機械に対して用紙を垂直に挿入するために、前案内板の上のペーパーガイドをワークの幅に合わせて使用して下さい。

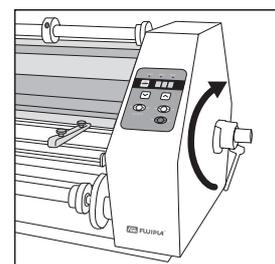
- 8)ラミネートされたフィルムは、プルロールの所から出てきます。この時、加工物はある程度高温(30~40)になっています。

注意

- a)リバース(REVERSE)ボタンをONにするとゴムロールは逆転しますが、緊急時以外は使用しないで下さい。
- b)作業中に一時機械を停止したい時は、必ずMOTORボタンをOFFにしてゴムロールの回転を止めてからゴムロールを上げて下さい。
高温のゴムロールが加圧状態(下がった状態)のままになっていると、ラミネートフィルムが溶ける可能性があります。

スタンバイモード

加工を中止した状態(HEATER:ON, MOTOR:OFF)がしばらく続きますと(約30分間)自動的にスタンバイモードに切り替わり、温度は50に設定されます。
加工を再開する場合は温度設定を行って下さい。



6.リアカッターの使い方

カッター本体の操作はゴムロールを停止した状態で行ないます。ラミネート作業が終了し、フィルムを切断したい時に下記の手順で行ないます。

- 1)カッター本体上部を押すと刃先が出ます。この状態のまま横方向に移動し、フィルムを切断します(切断は左右どちらの方向からでも出来ます)。

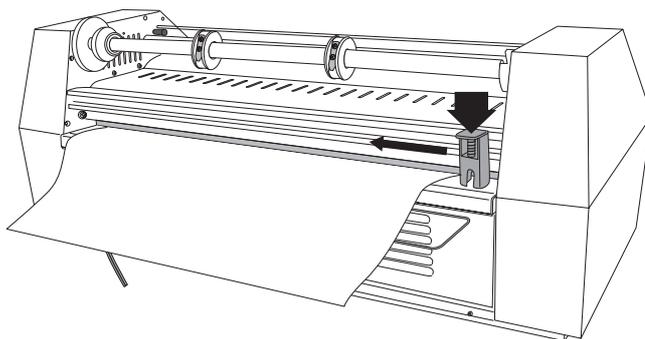
ポイント フィルムをピンと張った状態で切断して下さい。

- 2)手を離すと刃先はカッター本体内に収納されます。

注意

ラミネート加工中、必ずカッターはレールの左右どちらかの端に移動させて下さい。

フィルム走行範囲にカッターを置いた状態にしますと、ラミネートフィルムがカッター本体に接触して巻き込んだり、カッターが破損する恐れがあります。



7.作業の終了

- 1)作業が終了した場合、HEATERボタン・MOTORボタンをOFFにし、ロール操作レバーでゴムロールを上げます。
- 2)安全カバーと前案内板を取り外します。
- 3)フィルムをヒートロールの手前で上下とも切り、フィルムの残片を手で手前に排出して下さい。
- 4)電源スイッチをOFFにしてから電源コードをコンセントから外し、安全カバーと前案内板を取り付けて終了します。

注意

フィルムを通したまま機械を冷却すると、フィルムがヒートロールに接着して、再起動の際にゴムロールのゴムを傷める事があります。

8.ゴムロールの清掃

定期的にゴムロール(ヒートロール/プルロール)の簡単な清掃を行なって下さい。

フィルムを外した状態で厚口の用紙(カレンダー、カタログ等)を二つ折りにして、糊が付着している箇所折り目の方から機械に挿入します。これを数回繰り返して下さい。

ゴムロールに糊が多く付着するとフィルムを巻込むことがあります。また、古くなった糊は非常に取りにくくなりますので、こまめに清掃をして下さい。

注意

ローラー清掃の際にコピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻込む恐れがありますので充分注意して下さい。

9.ラミネートフィルム

フィルムの特性が合わないとラミネート仕上がりが不良や巻き込み等の故障の原因となりますので当社純正ロールフィルム「CPロール」をご使用下さい。詳細に関しては販売店または当社にお問い合わせ下さい。

10.機械仕様

商品名	LPP6512
最大ラミネート幅	650mm
最大ラミネート厚	0.8mm
ラミネート速度	60 ~ 180 cm / 分
温度調節範囲	常温, 50 ~ 130
ウォームアップ時間	約8 ~ 30分
電源電圧	AC 100 V (50 / 60 Hz)
消費電力	1300W
本体サイズ	1004(W) × 488(D) × 412(H)mm:本体 1004(W) × 615(D) × 1108(H)mm:リアドレー・専用スタンド組立時
本体重量	74.4kg(94.4kg:専用スタンドを含む)
使用環境 温度 / 高度	0 ~ 40 (推奨環境20 (± 5) / 海拔2000m

ウォームアップ時間は、使用環境温度などによって差が生じる場合があります。

保証規定

この製品は厳密な品質管理および検査に合格し、製造出荷された製品です。
しかし、通常のご使用において万一自然故障や調整の必要が生じた時は保証規定に従い保証致します。

- 保証期間中に使用説明書記載通りの正常な使用状態において、万一故障が発生した場合、保証書を添えて当社または販売店へご持参下されば、無償で修理致します。
- 次の場合は保証期間中でも有償修理となり、実費にて申し受けます。
 - 使用説明書記載どおりの取扱ではない、使用上の誤りまたは改造や不当な修理による故障及び損壊。
 - 火災・地震・水害・落雷その他天災地変、ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障および損傷。
 - ご使用中に生じた傷等の外観上の変化。
 - 当社純正ラミネートフィルム以外のフィルム使用が原因であると判断される故障・損壊。
 - 保証書の提示がない場合、または保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 万一、ラミネート加工に失敗した場合やラミネートした写真等の表面に気泡が発生した場合でも、内容物の保証は致しかねます。
- 修理ご依頼品、および保守用部品のご持参及び持ち帰りの交通費など、またご発送される場合、及び当社より返送する場合の送料及び諸費用はお客様のご負担となります。
- 保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造中止後、5年間です。
- 本保証書は日本国内でのみ有効です。
- この保証書に従わなかった場合、機械の安全性能が損なわれる事があります。

本規定は上記条件において無償修理をお約束するもので、御客様の法律上の権利を制限するものではありません。保障期間経過後の修理等は販売店または当社にお問い合わせ下さい。

フジラミパッカー保証書

本書は保証期間内に正常なご使用で生じた故障について、取扱説明書に記載の保証規定に従い無償で修理を保証いたします。
故障した機械に本保証書を添えてお申し出下さい。

商品名	フジラミパッカー LPP6512	お名前	
M/C No.		ご住所	
保証期間	ご購入日より1年間 ご購入日 年 月 日	電話	()

販売店名・住所

印



フジプラ株式会社

東京都中央区銀座1丁目9番7号

